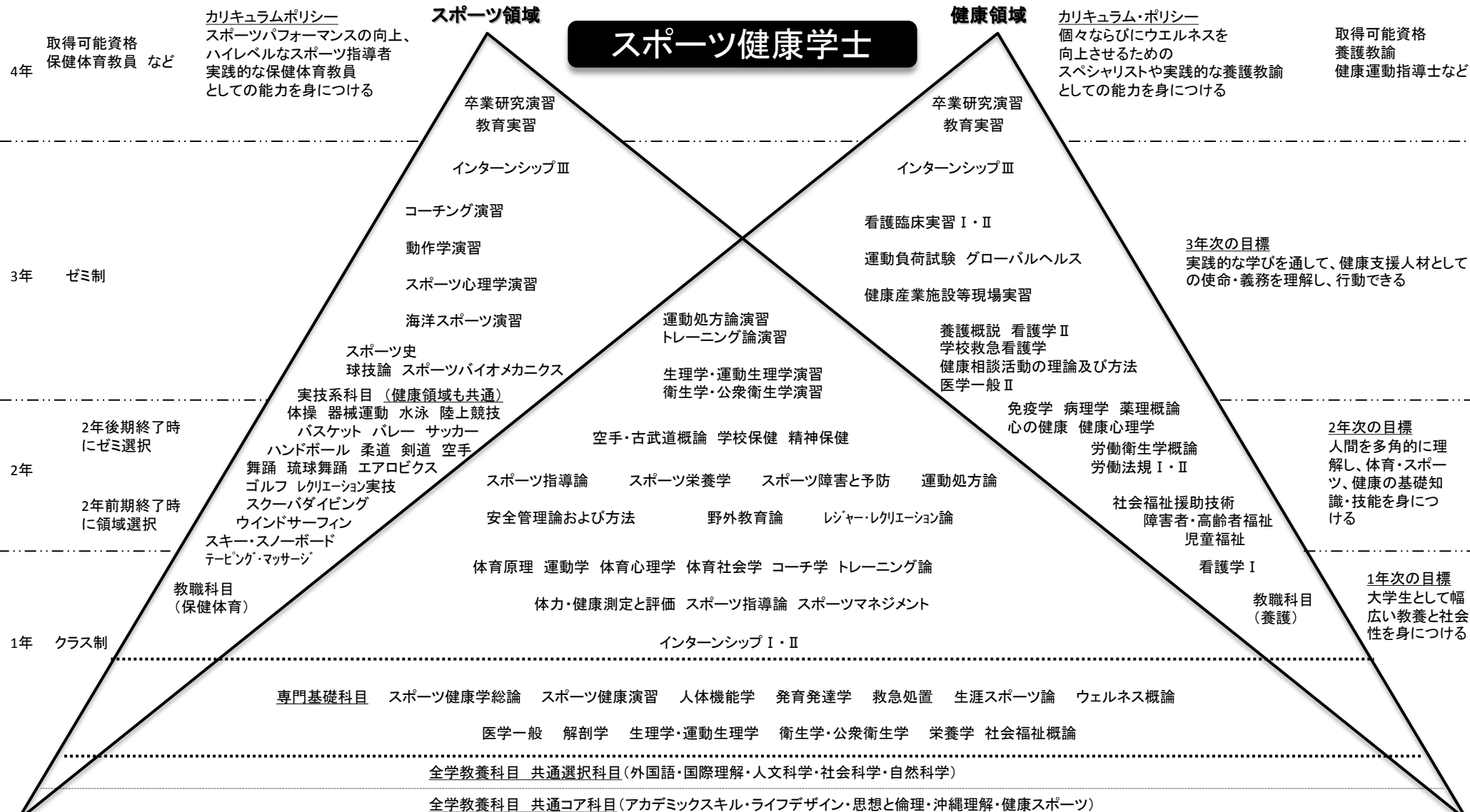


スポーツ健康学科教育方針とカリキュラム構造図

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

①人間を全人的に理解することができる。②学際的な視点から健康を支援することができる。③自主的により良く生きることができる。④健康の自己管理ができる。



アドミッション・ポリシー
(入学者受入の方針)

スポーツ健康学科は、「スポーツ領域」と「健康領域」の二つの領域を柱としています。ウエルネス、スポーツ、健康をキーワードに自主的に学びたい学生を求めています。そして、社会人としての基礎力を身につけて、学際的な視点から「スポーツ」「健康」の両面を科学的に探究・究明し、社会に貢献できる健康支援人材として取り組む学生を歓迎します。したがって本学科への入学を希望する学生は、高等学校教育における教育科目を全般的に履修したうえでスポーツ健康学における必要な科目(体育や保健等)については高校教育の内容を修得しておくことが重要です。

年次・領域別開設科目

領域の特色を理解し自分の将来をよく考え履修することが第一であるが、別領域の科目も積極的に履修し応用力のある健康支援人材を目指すことが望ましい。
指定された学年よりも前の年次の授業は受講できない。

	スポーツ領域専門科目	健康領域専門科目	共通専門科目								
3 ・ 4 年	卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ										
	柔道 剣道 舞踊 琉球舞踊 海洋スポーツ演習 レクリエーション実技	運動負荷試験	健康産業施設等 現場実習	健康相談活動の 理論及び方法	健康心理学	生理学・運動 生理学演習	衛生学・公衆 衛生学演習	運動処方論			
	スポーツバイオ メカニクス	動作学演習	スポーツ心理 学演習	体力・健康測定 と評価	養護概説	看護臨床実習 Ⅰ・Ⅱ	学校救急 看護学	労働法規Ⅰ・Ⅱ	トレーニング論 演習	スポーツ 指導論	運動処方論 演習
	トレーニング論	球技論	コーチング演習	スポーツ マネジメント	微生物学	薬理概説	保健衛生学	労働衛生学概論	スポーツ障害と 予防	空手・古武道 概論	インター シップⅢ
体育経営 管理学	体育・ スポーツ史										
2 年	体操 バasketボール バレーボール サッカー ハンドボール 空手 エアロビクス スクーバダイビング ウインドサーフィン			免疫学	病理学	看護学Ⅰ・Ⅱ	心の健康	スポーツ 栄養学	学校保健	精神保健	
	コーチ学	体育心理学	体育社会学	体育・ スポーツ史	児童福祉	社会福祉 援助技術	障害者・高齢者 福祉	グローバル ヘルス	野外教育論	レジャー・ レクリエーション論	安全管理論 および方法
				介護概論	健康教育				医学一般Ⅱ	インター シップⅠ・Ⅱ	テーピング・ マッサージ
1 ・ 2 年	専門基礎科目：【必修】（1年）スポーツ健康学総論 スポーツ健康演習 ウェルネス概論 発育発達学 救急処置 生涯スポーツ論 【選択】（1年）人体機能学（2年）医学一般Ⅰ 解剖学 生理学・運動生理学 衛生学・公衆衛生学 栄養学 社会福祉概論										
1 年	器械運動	陸上競技	水泳	ゴルフⅠ・Ⅱ	体育原理						
	スキー・ スノーボード	運動学									
全学教養科目 共通選択科目（外国語・国際理解・人文科学・社会科学・自然科学）											
全学教養科目 共通コア科目（アカデミックスキル・ライフデザイン・思想と倫理・沖縄理解・健康スポーツ）											

教職科目